

五中だより



第1号

令和7年4月14日

文責：教頭 今井 拓也

学校教育目標／人間性豊かで、主体的に問題を解決する生徒
基本目標／①心の豊かな生徒 ②自ら考え、実践する生徒
③健康で、たくましい生徒
生活の3重点／「あいさつ」「無言清掃」「時間を守る」

上田市立第五中学校 TEL 22-3076
学校HP <http://www.school.umic.jp/ueda5/>
〒386-0003 上田市上野441



PC・スマホ用QR

第21代学校長 山下 雅弘 先生着任

第五中学校では、令和6年度末をもって第20代校長の畠山正幸先生が退任し、山下雅弘先生が第21代校長に着任しました。

一学期始業式 4月4日 校長先生のお話

今日から令和7年度のスタートです。改めて、ご進級おめでとうございます。

今日、みなさんは新しい学年になって、一人一人が目標や夢をもって学校へ来たとします。目標や夢に向かって歩み始める皆さんに、私から一つだけお話しします。それは、「今を大切に、そのとき自分ができることを、本気になってやろう」ということです。思っているだけでは何も始まりません。どんな小さなことでもいいから、今できることに精一杯取り組んでください。そうすると、今まで知らなかったことがわかるようになったり、できなかったことができるようになったりします。

あるいは、新たな壁や困難に出会うかもしれません。そんな時は、一人でがんばるのではなく、まわりの人と協力し、つながり合いながら共に乗り越えていきましょう。一生懸命な姿の人には、手伝ってくれる、助けてくれる誰かが必ずいます。

一年後、皆さん一人一人が自分の夢や希望を叶えたり、近づいたりすることができて、「この第五中学校で一緒に学んで成長できて本当によかった」という思いがもてるよう、先生方も皆さんの歩みを精一杯応援します。

最後に、学校生活を送っていると、困ったことや心配なことがあるかもしれません。そんなときは、学級担任の先生、学年の先生、保健室の新海先生、教頭先生や私、誰でもいいので相談してください。

午後に入学式を迎える新入生も含めて、ここにいる全員で1学期を楽しく安全に過ごしましょう。

4月4日（金）午後 入学式が行われました。



令和7年度 第45回入学式式辞

三寒四温の言葉がぴったりの今年の春、大きく膨らんだ木々の芽も、私たちと同じように暖かく降り注ぐ日差しを待ち望んでいるかのような今日、日頃より地域で生徒を温かく見守っていただいております多くのご来賓の皆様ご臨席のもと、保護者の皆様と共に、入学式を挙行できますことはこのうえない喜びであります。心からの感謝と御礼を申し上げます。



新入生の皆さん、改めてご入学おめでとうございませう。皆さんの入学を心からお待ちしております。皆さん一人一人も、夢や希望をもってこの第五中学校入学の日を迎えたと思います。今日から五中生となり、夢や希望に向かって歩み始める皆さんに、私からお願いしたいことを二つお話しします。

一つ目は「今を大切に、自分ができるところを、本気になってやってみよう」ということです。中学校生活が始まる皆さんは、1年後、どんな自分になっていたと思いますか。3年後はどうでしょう。もっと先、10年後の自分は、なりたい自分になっているのでしょうか。「意志あるところに道は開ける」という言葉があります。意志、つまり自分が願う気持ちがあれば、道はあるという意味です。どんな難しいことがあっても、自分の気持ち次第で道はどんどん開けていくということです。なりたい自分を想像し、それが具体的であればあるほど、頑張ることができると思います。そのためにも、今を大切に、自分ができるところを、本気になってやってください。また、そうやって精一杯努力する人の周りには、必ず応援してくれる人がいます。そして、互いにエネルギーをもらいながら成長することができます。一人で頑張るのではなく、まわりの人と協力しながら、共に夢に向かって歩んでいきましょう。

二つ目は「命を大切にする」ということです。皆さんは今までの12年間、家族や地域の方、学校の先生方など、たくさんの人に見守られ、ここまで成長してきました。そんな皆さんには、「夢や希望を持ち、幸せに生きる」という重要な役目があります。そのためには自分の命、そしてまわりにいるたくさんの人の命を大切にしなければなりません。道具やおもちゃは、動かなくなったら電池を交換したり、新しいものを手に入れたりすれば再生することができます。でも、ここにいる皆さん一人一人の命は、新しく手に入れたり、電池みたいに置き換えることはできません。そんな、かけがえのないあなたの命、そしてここにいる仲間の命をどうか大切にしてください。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございませう。今日から三年間、皆様の大切なお子様をお預かりし、教職員一同、精一杯教育活動に取り組んで参ります。学校と家庭がいつも手を携えていけますよう、今後のご支援とご協力をお願いします。

結びに、新入生のこれからの中学校生活が、夢や希望の実現に向けた、充実した毎日になることを祈念して、式辞といたします。

令和7年4月4日 上田市立第五中学校長 山下 雅弘

新入生代表あいさつ

本日は、私たちのために入学式をひらいてくださり、ありがとうございます。

新しい校舎にむかえられ、私たちは、今日から第五中学校の生徒になります。中学生としての自覚をもち、楽しく充実した学校生活を送れるように努力していきたいと思います。



まず、小学校と比べて大きくちがうところは、勉強だと思います。今までよりも難しくなるとは思いますが、授業に集中して目標をもって取り組んでいきたいです。また、新しいクラスや部活動などでたくさんの人と出会うことと思います。学校生活の中でお互いに高め合えるような関係を築いていきたいです。

先生や先輩方に教えていただきながら、五中生としての責任をもち、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。これからの三年間よろしくお願いします。

令和7年4月4日 新入生代表 S. Sさん

新たに11名が加わり教職員51名で新年度をスタートしました。

・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ HP掲載用に加えています。	校 長	飯山市立城南中学校
	国 語	新規
	社 会	長野県伊那養護学校
	社 会	新規
	理 科	長野県上田養護学校
	保健体育	上田市立丸子中学校
	保健体育・不適応支援	上田市立丸子中学校
	養護教諭補助	上田市立長小学校
	特別支援教育支援員	新規
	特別支援教育支援員	新規
	庁務員	上田市立塩川小学校

保護者の皆様へ

- 本年度も本校には、SC（スクールカウンセラー）、心の教室相談員、特別支援教育支援員（3名）が配置されています。SCは生徒だけでなく、保護者の皆様も利用できますので、ご希望の方は担任または養護教諭 までお申し出ください。
- 本校では、体罰やスクールハラスメント等の防止に努めています。その一環として、何か相談ごとがある時に、いつでも来室できるよう、校長室、職員室、保健室、学習支援室に「相談窓口」を設置しています。学校でも生徒に知らせていますが、悩みや相談がありましたら、各相談窓口に行くようご家庭 でもお子さんにお話してください。
職員にかかわる相談についても応じますので、校長または教頭にご連絡ください。
- 校舎改築に伴い、駐車場など、ご不便をおかけすることがあるかと思います。ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

「チームで支えます！」（第五中学校の登校支援） ～ 一人一人の状況に応じた支援や居場所 ～



困ったな、どうしよう？

生徒

- ・授業がわからない
- ・友だちとうまくいかない
- ・学校が楽しくないなど

保護者

- ・友だちと何かあったのかな
- ・学校に行きたがらない
- ・学校の宿題が大変そう など

学級担任
学校の先生

- ・まずは話しやすい先生に相談してみましょう。
- ・親身になって相談にのり、問題を解決していくために一緒に考えてくれます。

副校長・コーディネーター
心の相談員

- ・相談した先生からの要望を受け相談にのってくれる先生です。
- ・登校できない場合には、担任とお家に伺い、生徒や保護者のお話を聞くこともできます。

保健室

- ・心身の悩みの相談に応じます。
- ・スクールカウンセリングの申し込み窓口になっています。

スクールカウンセリング（SC）

- ・月に数回、学校で1時間単位のカウンセリングを行います。保護者のカウンセリングも行っています。（廣藤先生）

個別支援で教室復帰を

まずは話しやすい先生に相談

学習支援室
（校舎2階）

- ・学校で生活したいと考えている生徒が安心して学習や生活をしていく場所です。エネルギーをためて、教室復帰を目指す場所です。

相談室
（校舎2階）

- ・相談や、話を聞いてほしい時などに利用し、面談できます。
- ・授業中の入室は担任等に許可をとりましょう。
- ・登校が安定しない生徒が、短期間安心して登校できる場所として利用できます。

教室

- ・授業の中で困っている生徒の学習等のサポートをしてくれる先生がいます。
- ・個々の生徒の状況を把握し、個に応じた学習を教科担任とともに考えていきます。

学級担任、学年職員等が、生徒や保護者の気持ちによりそい支え続けます

支援会議

本人、保護者、学級担任、教科担任、学年職員、進路支援コーディネーターなどで相談をします。
（短時間、定期的、継続的に行います）

校外の機関と連携してサポート

市中間教室

- ・真田ふれあい教室（本原小となり）その他4カ所
- ・指導員の先生がそれぞれの進度に合わせて学習を進めます。登校下校時刻、学習内容は自分で決めることができ、登校日数にカウントされます。

市教育相談所

- ・教育相談所では、さまざまな問題を一緒に考え、助言、指導していきます。

スクールソーシャルワーカー（SSW）

- ・生徒や保護者との相談を通して、医療や福祉などの学校外の専門機関の支援を受けるためのお手伝いをします。家庭訪問をすることも可能です。

上田市教育委員会

- ・福祉課や関係機関と連携し、発達課題を含めた教育相談や登校援助指導を行います。問題事例解消に向け、指導・支援を行っています。

卒業後、将来への夢や希望をもって次のステップへ

